

神戸市民 ワクチン副作用疑い

死者 7 人、重症 48 人

神戸市は、弊所が行った情報公開請求に対し、9月22日までに情報公開（部分開示）を行いました。それによると、神戸市民のワクチン副作用疑いがある死者が7人、重症が48人（9月7日までに市が認知したものに限り）であることが判明しました。

前回（7月28日まで）よりも、重症者が9人増加し、うち1件は「後世代における先天性の疾病又は異常」という重篤な症状が生じました。

「後世代における先天性の疾病又は異常」の具体的な症状までは明らかにされていませんが、一般には「妊娠前又は妊娠中の医薬品による曝露により出生児に異常を来したと疑われる場合が該当する。例えば、サリドマイドによる出生児の器官形成不全、ジエチルスチルベストロールによる出生女児の腫瘍等が挙げられる」（厚労省医薬食品局審査管理課・安全対策課の平成26年2月26日付け事務連絡）とされています。

今回のワクチンについては、不妊症などの後世代に関わるリスクが指摘されております。反ワクチン訴訟弁護団の公開質問状に対する野田聖子衆院議員（自民）の回答にも、不妊症のリスクが否定できない旨の記述があります（反ワクチン運動基金 HP に掲載中）。

「ワクチンで人口 10~15%削減」と言い放ったビル・ゲイツの目標は、着実に達成しつつあるのです。

3.7.28 予防接種後副反応疑い報告書

報告先: (株) 反ワクチン運動基金 代表弁護士 木原功仁哉
 FAX番号: 0120-178-146
 新型コロナウイルスワクチン専用FAX番号 0120-011-128

氏名: [] 性別: [] 年齢: []
 住所: [] 生年月日: []
 氏名: [] 電話番号: []
 住所: []

接種日時: [] 接種回数: []
 ワクチン種類: []

接種後の経過: []
 症状: []
 検査結果: []

産状の経過: []
 産状の経過: []

報告者: []

⑦ 後世代における先天性の疾病又は異常

※被害件数に関する注記

①同一人物に関し複数の報告がなされている場合は1件としました。②重症とは、障害、死亡又は障害につながるおそれ、入院をいいます。③同時期の神戸市民の副反応疑い報告（軽症以上）は370件程度に上っています。

(連絡先) 〒530-0047 大阪市北区西天満 3-10-3 ARK 西天満ビル 4階 木原功仁哉法律事務所内
 反ワクチン運動基金 代表弁護士 木原功仁哉 (きはらくにや)
 電話: 06-6809-2562 FAX: 06-6809-2563
 HP: <https://hanwakukikin.jp>